

新治区防災計画



新 治 区
新治区自主防災会

目 次

はじめに	1
1 区の位置と特性	2
(1) 新治区の位置	2
(2) 地区特性	2
(3) 地区の年齢別人口推移	3
2 予想される災害	4
(1) 風水害の被害と警戒・避難情報	4
(2) 地震による被害と緊急地震速報	5
3 地区の防災体制	6
(1) 組織の名称	6
(2) 組織構成の状況	6
(3) 避難場所・避難所	6
(4) 避難経路	6
(5) 「新治区自主防災会」の目的と活動項目	7
(6) 組織編成と任務	7
4 防災活動内容	8
(1) 「平時」の備え	8
(2) 「災害時」の活動	8
5 緊急時の対応マニュアル	9
(1) 「風水害」の対応	9
(2) 「大地震」の対応	10
6 防災関係機関等との連携	11
7 区の防災設備と資機材	12
(1) 消防関連設備	12
(2) 保有防災資機材	13
8 防災訓練	13
9 附則	13

添付資料

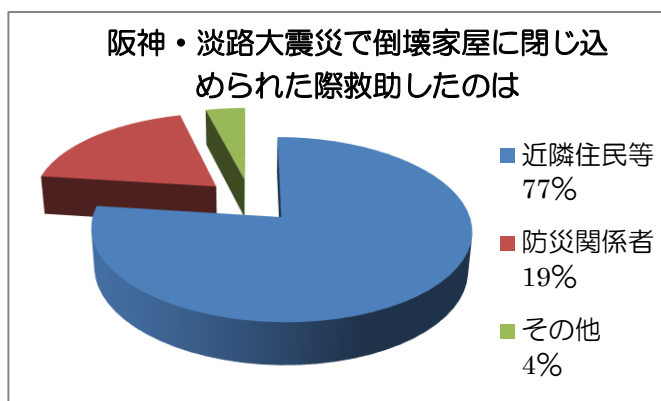
- 【資料1】 新治区防災マップ
- 【資料2】 一時集合場所と避難経路図
- 【資料3】 保有資機材
- 【資料4】 新治区自主防災会緊急連絡体制
- 【資料5】 新治区自主防災会役員名簿

はじめに

地区防災計画は災害対策基本法に基づき、地区の居住者等が行うその地区における自発的な防災活動に関する計画で、主に災害から人命・財産を守るためにお互いが助け合う「共助」について定めた計画のことです。

平成23年の東日本大震災では行政機能が麻痺し、自分の命は自分で守る「自助」や地域コミュニティにおける「共助」が重要な役割を果たしました。

また、平成7年の阪神・淡路大震災では、家屋倒壊などで約15万人が生き埋めになり、自力で11万5千人が脱出しましたが、残りの3万5千人は倒壊家屋に閉じ込められました。これらの人々を誰が救助したかをみると、右図のように近隣住民等による「共助」が、防災関係者の「公助」を大きく上回っております。



当地域でも、昭和2年の北丹後

地震は、京丹後市で倒壊・焼失棟数 15,673 棟、死者 2,310 人といった大惨事になりました。また、京都府は平成29年に「郷村断層」で震度7の地震が発生した場合の被害想定を公表しました。それによると京丹後市では、全壊 5,250 棟、死者 2,950 人となっております。また一方で、住宅耐震化や感震ブレーカー等の減災対策等を行えば、被害は大幅に減少するとも試算しています。

近年は防災力を上回る大地震や、線状降水帯による記録的豪雨等によって、多くの人命が失われています。いつ何時発生するかわからないこれら災害に対し、出来るだけ被害を小さくする減災への取組が重要視されています。

具体的には、地震や火災にも強い家づくりや、地域コミュニティによる自主防災組織での、要配慮者等災害弱者への支援強化など、命を守るためのきめ細かな活動があげられます。

少子高齢化が急速に進む中で「共助」を中心にした減災を図るには、常日頃からの「向こう三軒両隣」の近所付き合いや、お祭り・運動会といった連帯を深める区民行事は大切であると考えます。この「新治区防災計画」は、「共助」の精神を一層高め、区民が一丸となって災害と対峙し、社会的弱者にも優しい安全で安心して暮らせる地域づくりに、寄与することを願い策定しました。

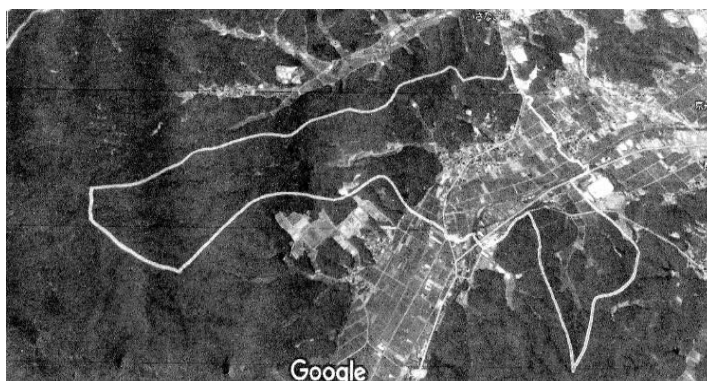
安全で安心な暮らし



1 区の位置と特性

(1) 新治区の位置

当地区は、丹後半島の付け根に当たる峰山町の京丹後市役所から、南西約2キロに位置している。風景は、竹野川支流の鱒留川中流域に広がる水田の、山際の両裾に戸数180程の住居が建ち並び、農村情緒豊かな集落である。



(2) 地区特性

ア 平野部は、磯砂山系と久次山系の谷間を流れる鱒留川と、その支流の久次川からなる泥・砂・小石混じりの扇状地である。その平野部には圃場整備された水田が広がっている。

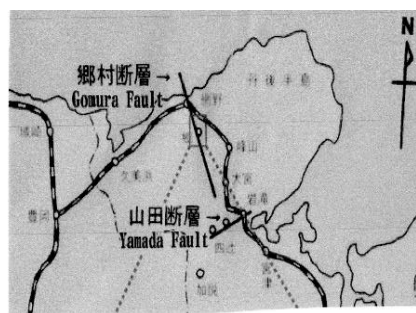
周辺の山は総じて低く、土質は花崗岩質の岩石からなる。北面の山裾には住居が近接しており、土石流や急傾斜地崩壊の警戒区域/特別警戒区域に12か所指定されている。(【資料1】新治区防災マップ)

イ 南面寄りを流れる鱒留川とは別に、西方にそびえる来迎山(465m)の東麓を源流とする奥山川が、北面の集落を縦断し鱒留川に注いでいる。

平時の水量は少ないが、川幅も狭く且つ浅いことから、集中豪雨時には道路冠水・住宅浸水の被害がたびたび発生している。

河川名	川幅 m	水位 m			流路延長 km	流域面積 Km ²
		最高	最低	平均		
鱒留川	18.0	1.80	0.30	0.40	13,200	19.84
奥山川	3.5	1.10	0.20	0.30	2,900	1.20
久次川	3.5	1.10	0.20	0.30	3,890	2.33

ウ 地区の東方には、昭和2年の北丹後地震で出現した、網野町浅茂川から大宮町三重に至る長さ18kmの「郷村断層帯」が通っている。また、少し離れた南東方面の与謝野町には、「山田断層帯主部」が通っており、ふたたびこの地域に大地震が起きれば甚大な被害が想定される。



エ 地区には農地灌漑用の小規模な溜池が5箇所ある。一部堤体から少量の漏水が見られるが、決壊の危険性は低い。

名称	用途	貯水量	要監視池	決壊時の被害
蔵の谷池	灌漑	12,000 m ³		12戸
オドロ谷池	灌漑	7,500 m ³		
六反田池	灌漑	7,500 m ³		
寺谷池	灌漑	5,000 m ³		
穴虫池	灌漑	7,000 m ³	堤体から少量漏水	

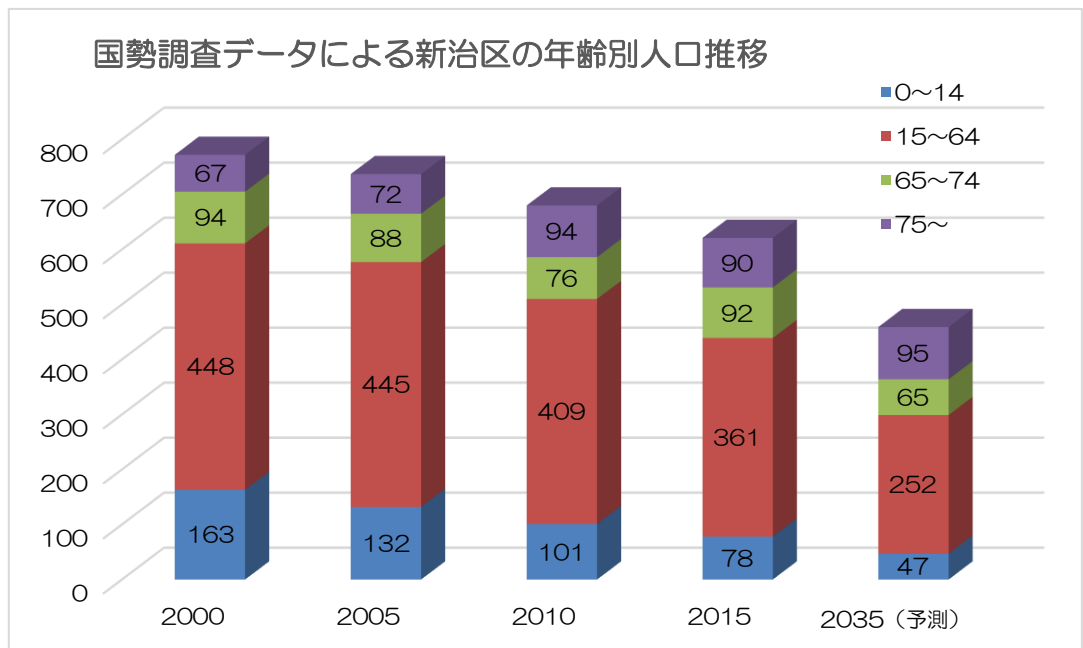
また、奥山川上流部には、砂防堰堤が2箇所設けられている。今迄のところ、土石流が流れ込んだ形跡は見当たらない。

名称	高さ	長さ	施工	備考
奥山川予防砂防堰堤	5.5m	56m	昭和38年	
大谷川砂防堰堤	4.8m	38m	昭和37年	

オ 一方、文化的なものとして、区民の連帯を深める運動会やグラウンドゴルフ大会、賑わいと活気をもたらす水無月祭宵宮と翌日の神輿巡行、子供樽神輿といった恒例行事が、長年にわたり続いている。

(3) 地区の年齢別人口推移

区の人口推移を国勢調査データからみると、2000年に772人であった人口が、2015年には621人と20%も大幅に減少している。また、年齢構成別にみると、65歳以上の高齢者人口と同程度であった0～14歳の年少人口が、163人から78人と52%も激減し少子高齢化の傾向が著しい。



2 予想される災害

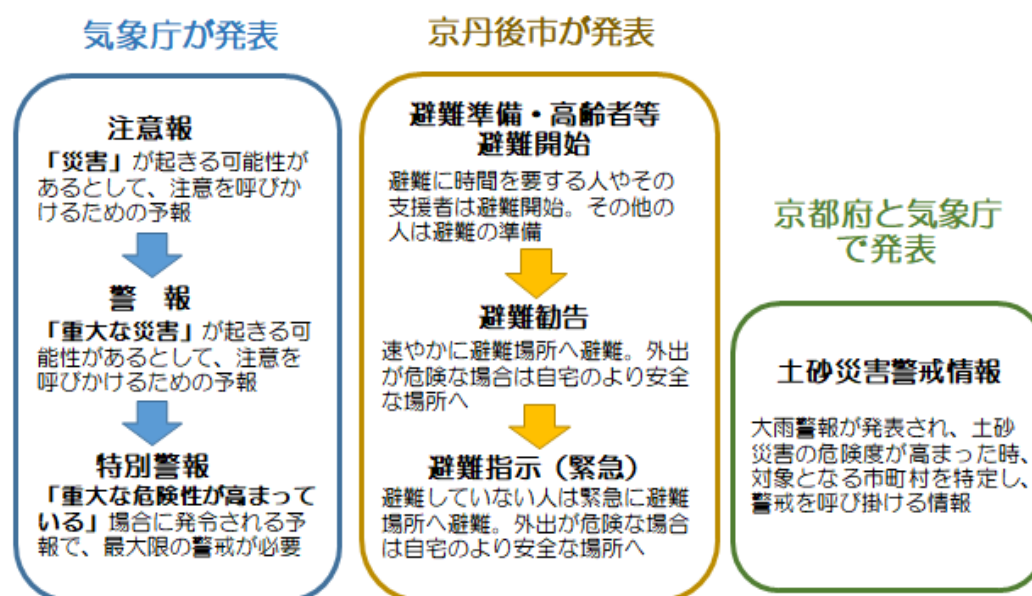
(1) 風水害の被害と警戒・避難情報

ア 大雨による被害の多くは、北面を流れる奥山川の流域で発生している。中流の田中橋付近では内水氾濫による床下浸水、下流では外水氾濫による床下浸水が度々発生している。特に近年は、短時間で急に増水する局地的大雨による被害が増加している。また、南面にあたる三軒屋地区でも、農業用水路の「長岡水路」が溢れ、住宅や農地への被害が発生している。

年次	名称	種類	月日	災害状況
1972 (S47)	台風20号	台風	9/16	由良川で水位10m。 峰山町内で道路・河川・家屋被害甚大
1990 (H2)	台風19号	台風	9/20	風速38.7m降り始めからの総雨量315mm
2004 (H16)	台風21号	台風	9/29	新治区で床下浸水9棟他
	台風23号	台風	10/20	峰山で24時間総雨量200mm。 新治で床下浸水6棟他
2008 (H20)		大雨	7/28	峰山で3時間153mmの豪雨。 新治で床下浸水14棟他

イ 降り始めから120mmを越えると地盤が緩み、土砂災害の危険が高まると言われる。警戒区域/特別警戒区域がある当区においては、降雨量の把握や土石流・崖崩れに備えての対策や行動が求められる。また、暴風による建物損壊や樹木・電柱倒壊による人的被害も想定される。

ウ 警戒・避難情報の種類と行動判断は下図のとおりである。特に災害弱者の要配慮者については、早い段階での避難支援が必要である。



(2) 地震による被害と緊急地震速報

ア 昭和2年3月7日午後6時半ごろに襲った「北丹後地震」では、峰山町安の溪禅寺と峰山高校付近から新治にかけて、2本の「郷村断層帯」が現れ、新治で高低差6～70 cm、くいちがい100 cmの記録がある。

吉原村（小西・西山、安、菅、新治）の被災状況は、下表のとおり死傷者509人、全焼・全壊800棟の大惨事であった。

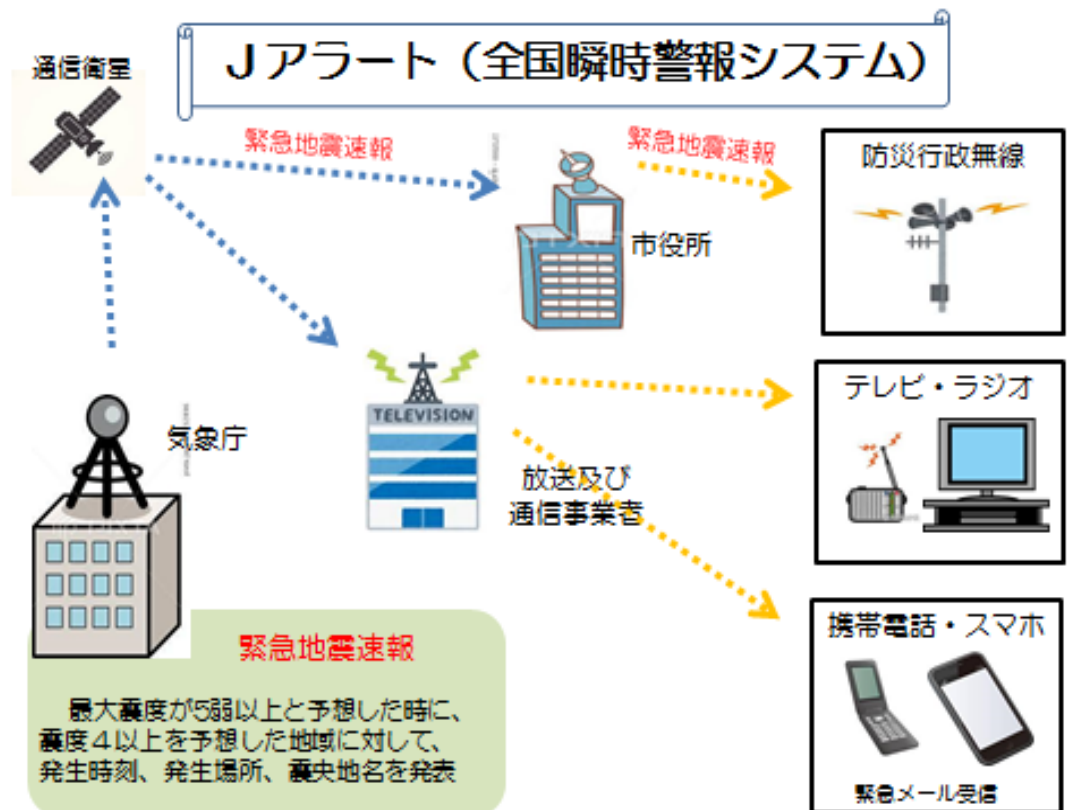
年次	名称	地震規模	被災状況
1927	北丹後地震	M7.3 震度6	死者2,925人、負傷者7,806人、 全壊12,584棟、全焼6,459棟

◇吉原村の被災状況

死亡	重軽傷	全焼	全壊	半焼	半壊
215人	294人	123棟	677棟	3棟	102棟

イ 強烈な地震の揺れでのライフラインの破損や、山崩れ・崖崩れに加え、鱒留川の扇状地に立地していることから、道路の地割れ・液状化現象による交通網の寸断も想定される。

ウ 大規模地震時の「緊急地震速報」は、「Jアラート（全国瞬時警報システム）」により、防災行政無線を通じ、住民に情報を瞬時に伝達する。



3 地区の防災体制

(1) 組織の名称 「新治区自主防災会」

(2) 組織構成の状況

- ア 世帯数 248世帯（平成29年3月調査）
 イ 平時の人口 661人（同上）
 ウ 高齢者の比率 65歳以上 29.3%（平成27年度国勢調査人口）
 75歳以上 14.5%（同上）

(3) 避難場所・避難所

ア「地区避難所」は、台風の接近や大雨による洪水・土砂災害が発生する恐れがあるとき、区民からの問い合わせ状況等を考慮し、避難希望者を対象に一時的に開設するもので、最低限の生活必需品を用意し避難する。

イ「指定緊急避難場所」・「福祉避難所」・「指定避難所」は、避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告、避難指示（緊急）を発令した時に市が開設する。

区分	避難施設	風水害	地震	大規模火災	記事
指定緊急避難場所	いさなご小学校（体育館）	○	○	○	・緊急避難として市が開設する
	途中ヶ丘公園			○	・一時的な避難場所
地区避難所	新治公民館	○	○		・区が開設する自主避難所
福祉避難所	峰山総合福祉センター	○	○		・一般の避難所では対応が難しい要配慮者が避難生活するための、特別な配慮がなされた避難所
	峰山林業総合センター				
	峰山こども園				
指定避難所	いさなご小学校	○	○		・災害の危険性がなくなるまで、一定期間滞在するための避難所で、市が開設する
	旧五箇小学校				
	長岡小学校				

(4) 避難経路

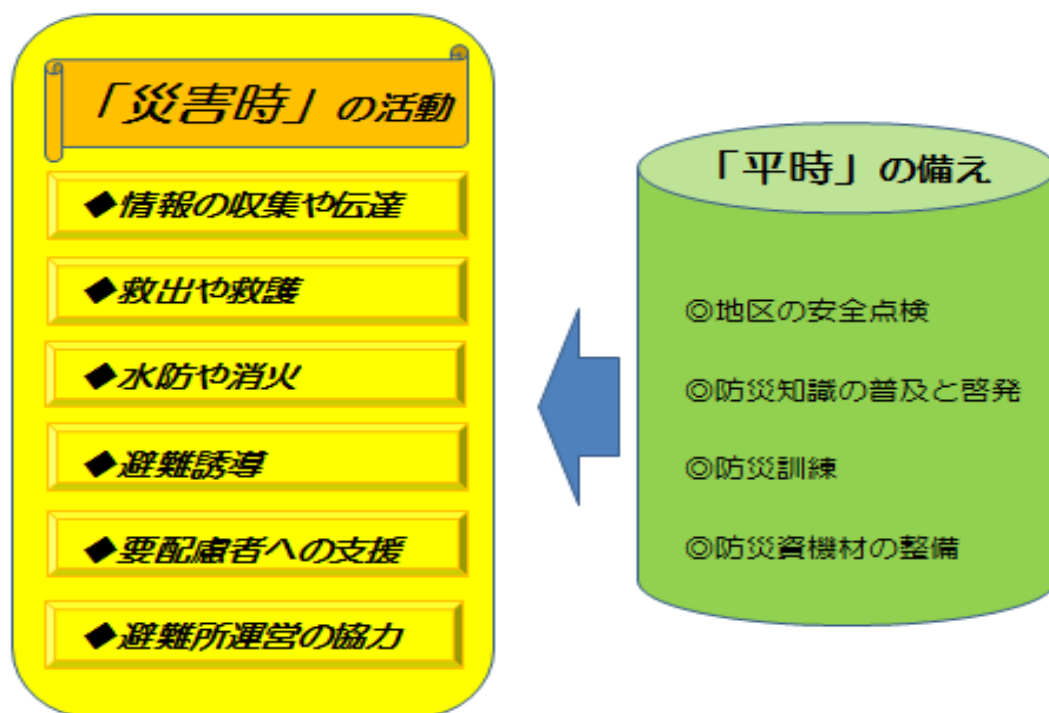
自宅から避難する際は、まずは一時集合場所に集まる。ここでは近隣の被災状況や安否等も含めた情報交換を行う。また、避難予定施設までの道路情報収集に努め、安全を最優先に避難施設と経路を決定し、速やかに避難する。

ア 風水害時の緊急避難は、道路冠水・土石流・崖崩れ区域の現状を十分把握したうえで、単独行動はできるだけ避け極力複数人で避難する。

イ 大地震時の緊急避難は、建物・塀の倒壊や土石流・崖崩れの危険な場所をできるだけ避け、道路の地割れにも十分注意しながら避難する。

(5) 「新治区自主防災会」の目的と活動項目

災害等による被害の防止及び軽減を図ることを目的に、「平時」は災害に備えての活動を、「災害時」は人命を守り被害の拡大を防ぐ活動を行う。



(6) 組織編成と任務

役員	人数	区等の役職	任務	班員構成等
会長	1	区長	統括・応急活動の指揮命令	防災会3役
防災部長	1	副区長	会長補佐、会長事故時の指揮代行	
防災副部長	1	消防OB	部長と共に班リーダーを指揮	
総務情報班リーダー	1	公民館主事	災害情報の収集と伝達等	公民館副主事 区各班公民館運営委員
水防消火班リーダー	1	消防OB	水防・初期消火活動等	各班の消防OB
救出救護班リーダー	1	協議員	負傷者の救出・応急手当等	区各班の体育委員
避難誘導班リーダー	1	協議員	避難誘導・要配慮者支援等	区各班の班長
給食給水班リーダー	1	農会長	地区避難所設営と運営、物資調達・炊き出し等	民生委員2名 区各班の福祉委員

4 防災活動内容

(1) 「平時」の備え

ア 地区の安全点検

地区内の警戒区域/特別警戒区域及び浸水・冠水が度々発生する奥山川や長岡水路の状況を定期的に点検し、危険箇所の早期発見と予防に努める。

イ 防災知識の普及啓発

災害から被害の軽減を図るため、防災訓練や区会等の機会を通じて、区民が出火防止、初期消火、避難、救助、応急救護等の知識や技術を身につけるための講習や防災チラシの配布を行う。

ウ 防災訓練

京丹後市防災訓練に併せ、適切な行動ができるよう実践的な訓練を中心に実施する。さらなる訓練が必要と判断した場合は追加実施する。

エ 防災資機材の整備

必要な資機材は公民館横の倉庫に保管し、何時でも取り出せるように整備しておく。また、充実に向けての配備計画と予算措置を行う。

(2) 「災害時」の活動

ア 情報の収集・伝達

災害応急対策を円滑に実施するために、区民からの被災情報を迅速に収集し、峰山市民局等へ速やかに報告する。また、「区災害対策本部」が収集した情報や行政等からの正確な情報を、防災無線等を通じ区民に伝達する。

イ 救出や救護

早急な救出・救護が必要な場合は、「区災害対策本部」に連絡するとともに近所にも応援を求め、安全第一に速やかに行動し、適切に対処する。

ウ 水防や消火

洪水や浸水の恐れがある場合は、速やかに「区災害対策本部」に連絡し、土のう積み等の支援要請を行う。また火災が発生した場合も「区災害対策本部」に状況を連絡し、消防車が駆け付けるまでの間、近隣住民で初期消火に努めるが、危険を感じた場合は直ちに退避する。

エ 避難誘導

「避難勧告」・「避難指示（緊急）」が発令された場合は、一時集合場所から避難場所又は避難所まで、経路の安全を確認しながら誘導する。市開設の避難場所においては、市配備職員や学校職員の指示に従い誘導する。

オ 避難行動要支援者と要配慮者の支援

「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合は、支援者等は避難行動要支援者へ避難の必要性を説明し、避難開始の支援を行う。また要配慮者で避難に時間がかかる場合は、早めの避難を呼びかける。

5 緊急時の対応マニュアル

(1) 「風水害」時の対応

気象庁	京丹後市	防災会の行動	役員及び各班の活動内容等
大雨 注意報		「防災部長」	◇奥山川氾濫防止対策の実施（堰板外し・取水口解放久次川転倒井堰の起立解除と取水口閉鎖） ★雨脚と水量に十分な注意を払い複数人で対処
大雨警報 (土砂災害) (浸水害)	避難準備・ 高齢者等 避難開始	「防災会3役」 公民館に集合	◇防災無線、テレビ等での災害情報収集 ◇奥山川・長岡水路等の水位状況の把握 ◇支援を要請し氾濫常襲箇所へ土のう積み ◇災害対策本部設置に向け班リーダーを招集
		『災害対策本部』 新治公民館に設置 	●総務情報班 ◇防災無線で災害対策本部設置の区民周知並びに峰山市民局への設置報告 ●水防消火班 ◇被災状況や河川水位の情報収集等 ●総務情報班 ◇民生委員に避難行動要支援者の対応状況確認 ◇要配慮者等の自主避難希望状況の把握
		『地区避難所』 新治公民館に開設 	●総務情報班 ◇防災無線で地区避難所開設の区民周知並びに峰山市民局へ開設を報告 ●給食給水班 ◇地区避難所の設営から運営全般
		『いさなご小学校』 へ避難勧奨と誘導 	●総務情報班 ◇防災無線で警戒区域住民に避難勧奨 ●避難誘導班 ◇警戒区域の要配慮者への避難支援と一般住民への避難勧奨 ◇一時集合場所から安全な経路で指定緊急避難場所まで誘導 ◇避難先では市配備・施設職員の指示に協力
大雨 特別警報 (土砂災害) (浸水害)	避難指示 (緊急)	『災害対策本部』 被災・避難状況把握	●総務情報班 ◇防災無線で未避難者に緊急避難を呼びかけ ◇未避難者の状況把握と峰山市民局へ状況報告 ●避難誘導班 ◇一時集合場所から指定緊急避難場所まで誘導 ◇避難状況等を区の「災害対策本部」に報告

(2) 「大地震」時の対応

時間経過	京丹後市	防災会の行動	役員及び各班の活動内容等
 発生～10分	Jアラート 緊急地震速報	先ず身を守る 	◇先ず自分を守るシェイクアウト行動 ◇台所等の火元確認 ◇電気のスイッチ・ブレーカを切る ◇家族の身の安全の確認・確保 ◇災害情報及び避難情報の入手 ◇避難のための出口確保等
10分～半日		近所で助け合い 	◇要配慮者の安否確認と安全確保 ◇負傷者・閉じ込められ者がいないかを確認 ◇救出時は必要な人手を集めて安全第一に (見える時5～10人、見えない場合20人) ◇火災発生時は初期消火と応援を求める
		「本部役員」 公民館駆け付け	◇駆け付け役員の役割と任務確認 ★救出・消火と情報収集を最優先に班構成
		『災害対策本部』 新治公民館に設置 	●救出救護班 ◇倒壊家屋閉じ込められ者の救出活動 ◇負傷者の応急手当と救護所等への搬送 ●水防消火班 ◇区民に出火防止の呼びかけ ◇火災を発見時は「119」番通報 ◇延焼防止を目的とした初期消火活動 ●総務情報班 ◇区内を地域分けし、必要な情報を収集 ◇被害や火災発生状況を取りまとめ市等報告 ◇防災無線等での危険個所情報の伝達
半日～3日		『地区避難所』 新治公民館に開設 	●避難誘導班 ◇避難者を安全な経路で避難場所まで誘導 ●給食給水班 ◇避難行動要支援者・要配慮者を優先受入れ ◇避難者受入れ用物資の調達
		『いさなご小学校』 	●避難誘導班 ◇避難者を安全な経路で指定緊急避難場所まで誘導 ◇市配備職員・施設職員の指示に従い協力
避難生活		『指定避難所』	◇避難区民に市指定避難施設への移動支援 ◇市配備職員・施設職員の指示に従い協力

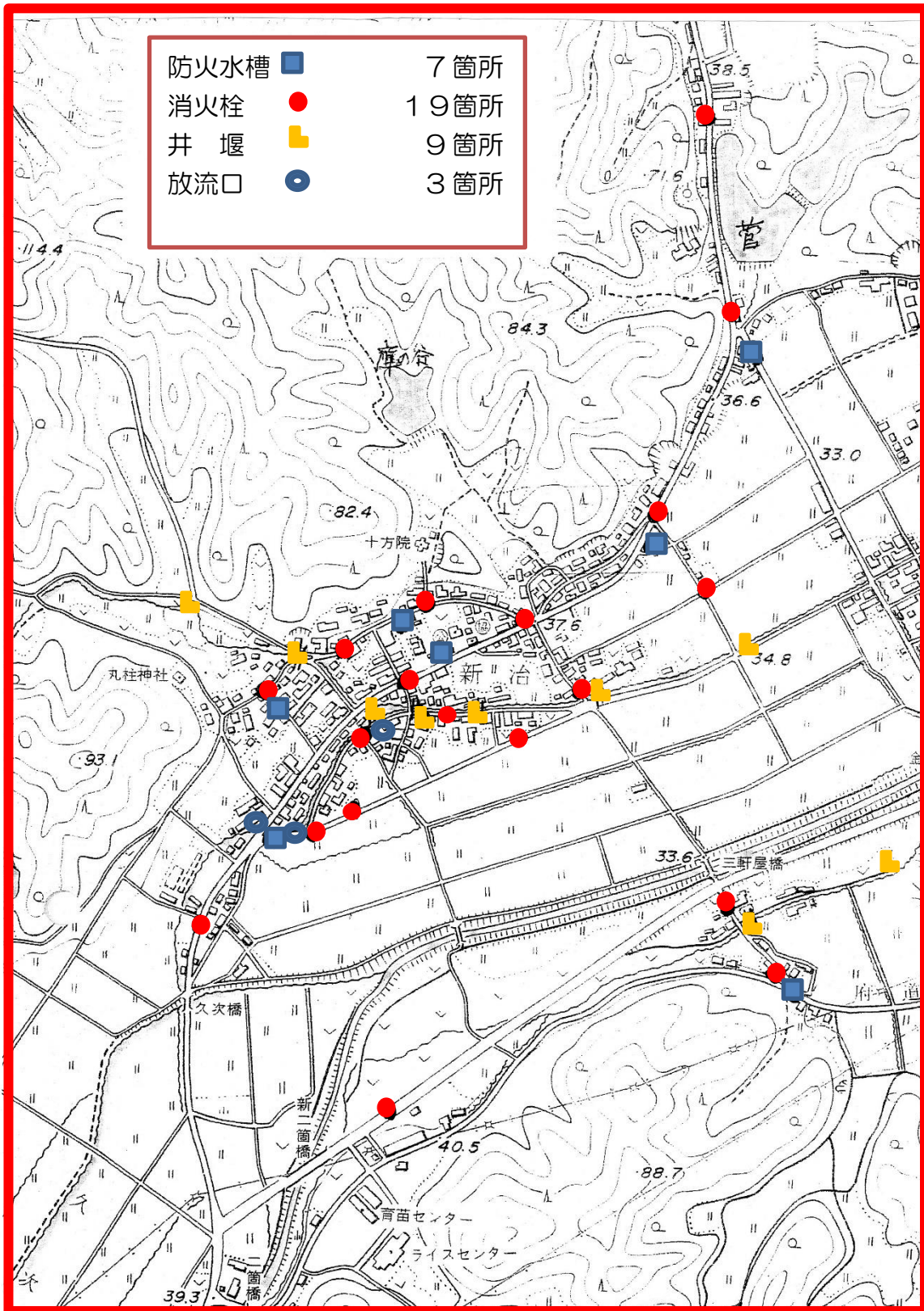
6 防災関係機関等との連携

災害時に被害を軽減するうえで、行政機関等との連携に加え地元事業者による迅速な支援・協力が大変重要となります。

区分	種別	名称	住所	電話番号・メール等
行政機関等	京都府	府民生活部 防災消防企画課		075-414-5619 bosaishobo@pref.kyoto.lg.jp
	京丹後市	企画総務部 総務課	峰山町杉谷 889	0772-69-0140 saigai@city.kyotango.lg.jp
	京丹後市	峰山市民局	峰山町杉谷 889	0772-69-0711
	消 防	京丹後市 消防本部	峰山町丹波 826-1	携帯電話：0772-62-0119 固定電話：119
	警 察	京丹後警察署	峰山町長岡 469-1	携帯電話：0772-62-0110 固定電話：110
医療機関	京都府立	府立医科大学付属 北部医療センター	与謝野町男山 481	0772-46-3371
	京丹後市立	弥栄病院	弥栄町溝谷 3452-1	0772-65-2003
		久美浜病院	久美浜町 161	0772-82-1500
	公益財団法人	丹後中央病院	峰山町杉谷 158-1	0772-62-0791
インフラ関係	電 気	関西電力 福知山営業所		0800-7778035
	上水道	上下水道部 水道整備課	丹後庁舎	0772-69-0580
	下水道	上下水道部 下水道整備課	丹後庁舎	0772-69-0550
	電 話	NTT西日本		携帯電話：0120-444113 固定電話：113
事業所	土木建設	新治田中組(株)	峰山町新治	0772-62-0818
	土木建設	吉村建設(有)	峰山町新治	0772-69-2101
	重機レンタル	志摩機械(株)	峰山町二箇前川原	0772-62-4035

7 区の防災設備と資機材

(1) 消火・水害時の対応設備等



(2) 保有防災資機材（【資料3】保有資機材）

区保有分は添付資料とおりでである。必要とするものは計画的に充実を図っていくが、多くの区民が保有している資機材の活用も十分考慮する。

8 防災訓練

当区は防災マップに示されているように、土砂災害警戒区域や浸水想定区域が広く分布し、加えて「郷村断層帯」も走っていることから、豪雨や大地震が発生すると大きな被害が想定される。そのため、災害時に区民が安全で適切な行動がとれるよう、防災機関等の協力を得て、年1回は実践的な防災訓練を実施する。

【実践的訓練項目】

- ①地震発生時の初動訓練
- ②初期消火訓練
- ③情報収集伝達訓練
- ④救出応急救護訓練
- ⑤避難訓練
- その他

【訓練の実施時期】

京丹後市の防災訓練に併せ実施するとともに、自主防災会で必要と判断した場合はその都度実施する。

9 附則

- (1) この防災計画は、平成30年2月9日から施行する。
- (2) この防災計画は、毎年役員の交代等が発生するため、変更となる資料等は速やかに修正し、区民に周知する。
- (3) この防災計画は、必要に応じまた最善のものとするため、改定することが出来る。
- (4) この防災計画の条項を改定した時は、最終ページに付記を設け、改定年月日とその内容を記載する。

添付資料

- 【資料1】 新治区防災マップ
- 【資料2】 一時集合場所と避難経路図
- 【資料3】 保有資機材
- 【資料4】 新治区自主防災会緊急連絡体制
- 【資料5】 新治区自主防災会役員名簿